

# TCB-D209 TCB-D309

## 取扱説明書

# KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

B5A-0125-10 

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
取扱説明書は、ご使用前に必ずお読みになり、大切に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。  
本機は電波法令による無線局の免許を取得して使用する製品です。製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

### 安全上のご注意

#### 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

**警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例

-  △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合はACプラグをコンセントから抜く)を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 警告

- DC13.6 V以外の電圧で使用しないでください。DC24 Vまたはそれ以上の電圧では絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 
- 必ず付属の DC コードを使用してください。付属品以外のコードを使用すると、火災・感電・故障の原因となります。 
- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 

### 注意

- 直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所には設置しないでください。また、布や布団で覆ったりしないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。 
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所、タバコの煙が多い場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。 
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。 
- 万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、すぐに電源を外して DC コードを抜いてください。そして煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。 
- 付属の DC コードのフェライトコアは外さないで使用してください。外した場合、無線通信に妨害を与えることがあります。 

### 付属品

取付け金具 .....	1
フロントガラス .....	1
ネームプレート(プログラマブルファンクションキー用) .....	1
クッション(オプション調整用:厚さ 5 mm) .....	4
クッション(オプション調整用:厚さ 10 mm) .....	4
脚(両面テープ付) .....	2
脚(グロメット使用) .....	2
グロメット(脚用) .....	2
ハンドル(取手)キット .....	1
ナベネジ(取付け金具用) .....	2
バインドネジ(フロントガラス用) .....	5
電源ケーブル(約 4 m) .....	1
コネクター付リード(15 ピン) .....	1
ヒューズ(15 A: プレードタイプ) .....	1
取扱説明書(本書) .....	1

### オプション(別売品)について

KMC-53 .....	ベース用スタンドマイクロホン
KMC-35 .....	ハンドマイクロホン

- その他のオプションについては販売代理店にお問い合わせください。

### 仕様

電圧 .....	13.6 V DC (10.8 ~ 15.6 V)
外形寸法(幅×高×奥行) <突起物を含む> .....	482.6 mm × 88 mm × 359.2 mm
外形寸法(幅×高×奥行) .....	482.6 mm × 88 mm × 340 mm
質量 .....	約 9.7 kg

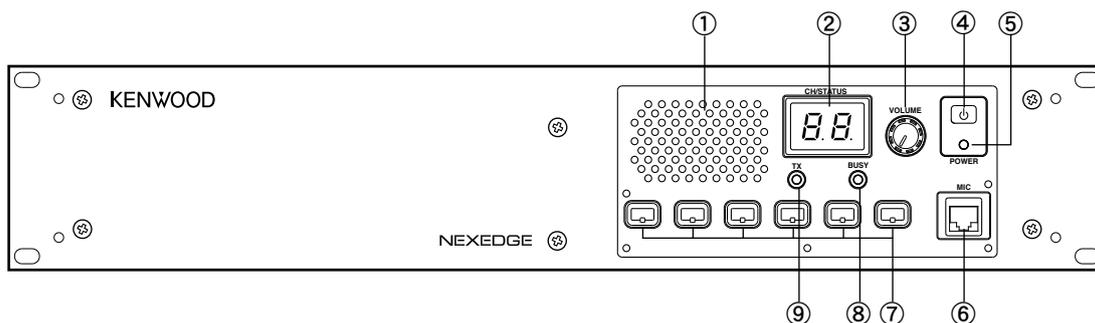
### 音声圧縮(符号化)方式について

米国 DVSI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #6,199,037, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

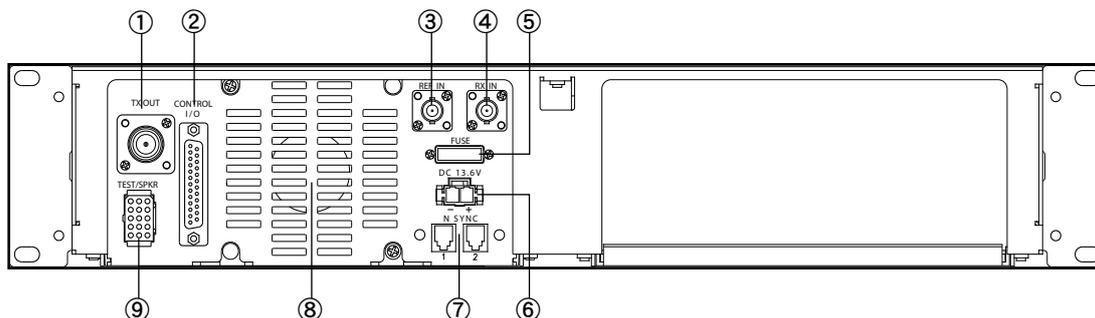
## 各部の名称

### 操作パネル



- ① **スピーカー**
- ② **CH/STATUS ディスプレイ**  
チャンネル番号や名前、動作モードなどを表示します。
- ③ **VOLUME ツマミ**  
受信音量を調整します。
- ④ **POWER スイッチ**  
電源を ON/OFF します。
- ⑤ **POWER インジケータ**  
電源 ON 時に緑色に点灯します。
- ⑥ **MIC(マイクロホン) 端子**  
オプションのマイクロホンを接続します。
- ⑦ **プログラマブルファンクションキー**  
各種モードの設定をします。
- ⑧ **BUSY インジケータ**  
信号受信時に緑色に点灯します。
- ⑨ **TX インジケータ**  
送信時に赤色に点灯します。

### 背面パネル



- ① **TX OUT コネクター (N)**  
TX アンテナまたはデュプレクサーを接続します。
- ② **CONTROL I/O コネクター (DB-25)**  
外部コントローラーを接続します。
- ③ **REF IN コネクター (BNC)**  
10 MHzの外部発振器を接続します。
- ④ **RX IN コネクター (BNC)**  
RX アンテナまたはデュプレクサーを接続します。
- ⑤ **ヒューズフォルダー**  
ブレードヒューズ (15A) 用フォルダーです。
- ⑥ **DC13.6 V 端子**  
電源 (DC13.6 V) を接続します。
- ⑦ **N SYNC 1/2 コネクター**  
(未使用)
- ⑧ **冷却ファン**
- ⑨ **TEST/SPKR コネクター**  
テスト入出力。または外部スピーカーを接続します。  
内部スピーカーを使用する場合は、付属のコネクター付リード (15 ピン) を接続します。

### 基本操作

電源を入れると、内部回路が安定するまで約 30 秒間 CH/STATUS ディスプレイが点滅します。点灯に変わってからご使用ください。詳しい操作方法については、お買い上げの販売店にご相談ください。

VOLUME ツマミで受信音量を調整します。  
受信中は BUSY インジケータが緑色に点灯します。  
送信中は TX インジケータが赤色に点灯します。

### 無線電話装置としての操作

#### 受信

受信中は BUSY インジケータが緑色に点灯します。VOLUME ツマミで受信音量を調整します。

#### 送信

- 1 送信チャンネルをモニターし使用されていないことを確認する。
- 2 マイクロホンの PTT スイッチを押して送信する。送信中は TX インジケータが赤色に点灯します。